

共和の郷・おだ

広報 第243号

令和6（2024）年2月1日発行

自治組織「共和の郷・おだ」、小田地域センター

739-2207 広島県東広島市河内町小田 2182

TEL : 082-438-0166 ホームページ <http://kyouwanosato-oda.com>

E-mail mail@kyouwanosato-oda.com

検索：共和の郷・おだ

自治組織専門5部会部員所属会議 2月18日（ご案内）

本自治組織は、平成15年（2003年）に設立し、21年目を迎えます。
選出いただいた新委員45名の皆様が5部会（一部会9名）のいずれかの部会へ所属するための大切な会議です。

3月中には各部会を開催し新年度の事業計画を作成してまいります。
ご理解ご協力をお願い申し上げます。

（自）「共和の郷・おだ」会長小早川正治



前回の会議の様子

ありがとうございました。

ご寄付は自治組織「共和の郷・おだ」の活動のため、有効に活用させていただきます。

香典返し

細川克彦様

自治組織「共和の郷・おだ」 会長 小早川正治 環境福祉部長 西村智基

にこにこ百歳体操 毎週水曜日

(2月7日/14日/21日/28日/3月6日ご案内)

年をとると、体力や筋力が落ちて介護が必要になるのは仕方がない」と思っていますか？ 筋肉は、いくつになっても鍛えることで筋力アップすることができます！
「百歳体操」で脳もからだも元気に！



※2月14日は、酒井先生の健康づくり教室を予定しています。

とき: 令和6年

2月7日/14日/21日/28日/3月6日

13:30～15:00

お気軽に参加ください

ところ: 小田地域センター

にこにこ百歳体操・小田地域センター

小田の世帯数・人口12月末現在

河内町の人口

令和5年12月末現在世帯数・人口を掲載します。

※()は、令和4年12月末現在

地区名	世帯数	人口	男	女	65歳以上	高齢化率%
小 田	229 (233)	453 (465)	221 (228)	232 (237)	237 (248)	52.3 (53.3)
下・中・ 上河内	804 (807)	1,509 (1,548)	711 (726)	798 (822)	806 (808)	53.4 (52.2)
河 戸	168 (175)	324 (333)	150 (153)	174 (180)	190 (196)	58.6 (58.9)
戸 野	133 (139)	258 (272)	127 (134)	131 (138)	138 (139)	53.5 (51.1)
宇 山	102 (104)	175 (182)	83 (88)	92 (94)	102 (102)	58.3 (56.0)
入 野	1,097 (1,077)	2,531 (2,534)	1,275 (1,259)	1,256 (1,275)	792 (805)	31.3 (31.8)
計	2,533 (2,535)	5,250 (5,334)	2,548 (2,588)	2,702 (2,746)	2,265 (2,298)	43.1 (43.1)

住民基本台帳から

65歳以上 237人 うち77歳以上 115人

・小田の高齢化率:51.2% うち77歳以上:48.5%

地震に備えて！

この度の能登半島地震は甚大な被害をもたらし、いつ、どこで起きるかわからない地震の恐ろしさを改めて覚えました。広島県で最も警戒するのが南海トラフ巨大地震と言われていています。いつ起こるかわからない地震に備えての行動について掲載しました。いざという時のために、日頃から心構えと備えをしておきましょう。

自治組織「共和の郷・おだ」総務企画部長 末田紘二

【地震が発生したら】

地震が発生しても、激しい揺れは通常、最初の1分前後です。激しく揺れているときに一番大切なことは、落ちてくるものや倒れてくるものなどから身を守ることです。

現在のプロパンガスや都市ガスは、震度5程度の揺れを感じると自動的にガスの供給が遮断されるように設定されており、石油ストーブなどにも耐震自動消火装置を備えたものが普及しています。そのため、揺れている最中は、身の安全を第一に行動し、揺れが収まってから、火の始末を行うようにしましょう。

その後、我が家の安全を確認し、隣近所で声をかけあって、出火の防止、初期消火、避難など、被害の拡大防止を図ることが大切です。落ち着いて行動しましょう。

地震時の行動

地震だ！ まず身の安全

- ・揺れを感じたり、緊急地震速報を受けた時は、身の安全を最優先に行動する。
- ・丈夫なテーブルの下や、物が「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」空間に身を寄せ、揺れがおさまるまで様子を見る。

【高層階（概ね10階以上）での注意点】

- ・高層階では、揺れが数分続くことがある。
- ・大きくゆっくりとした揺れにより、家具類が転倒・落下する危険に加え、大きく移動する危険がある。



地震直後の行動

落ちついて 火の元確認 初期消火

- ・火を使っている時は揺れがおさまってから、あわてずに火の始末をする。
- ・出火した時は、落ちついて消火する。



あわてた行動 けがのもと

- ・屋内で転倒・落下した家具類や ガラスの破片などに注意する。
- ・瓦、窓ガラス、看板などが落ちてくるので外に飛び出さない。



窓や戸を開け 出口を確保

揺れがおさまった時に、避難ができるよう出口を確保する。



門や塀には 近寄らない

屋外で揺れを感じたら、ブロック塀などには近寄らない。



地震後の行動

確かめ合おう わが家の安全 隣の安否

わが家の安全を確認後、近隣の安否や出火の有無をお互いに確認し合う。



協力し合って 消火・救出・応急救護

- 近隣で火災を発見した場合は、街頭消火器などにより、協力し合って消火を行い延焼を防ぐ。
- 倒壊家屋や転倒家具などの下敷きになった人を近隣で協力し、救出・救護する。



正しい情報 確かな行動

行政、放送局、鉄道会社などから発信される正しい情報を得る。



避難の前に 安全確認 電気・ガス

避難が必要な時には、復電時の電気機器のショートなど、通電火災が発生する可能性やガス漏れの発生を防ぐため、ブレーカーを切り、ガスの元栓を締めてから避難する。

